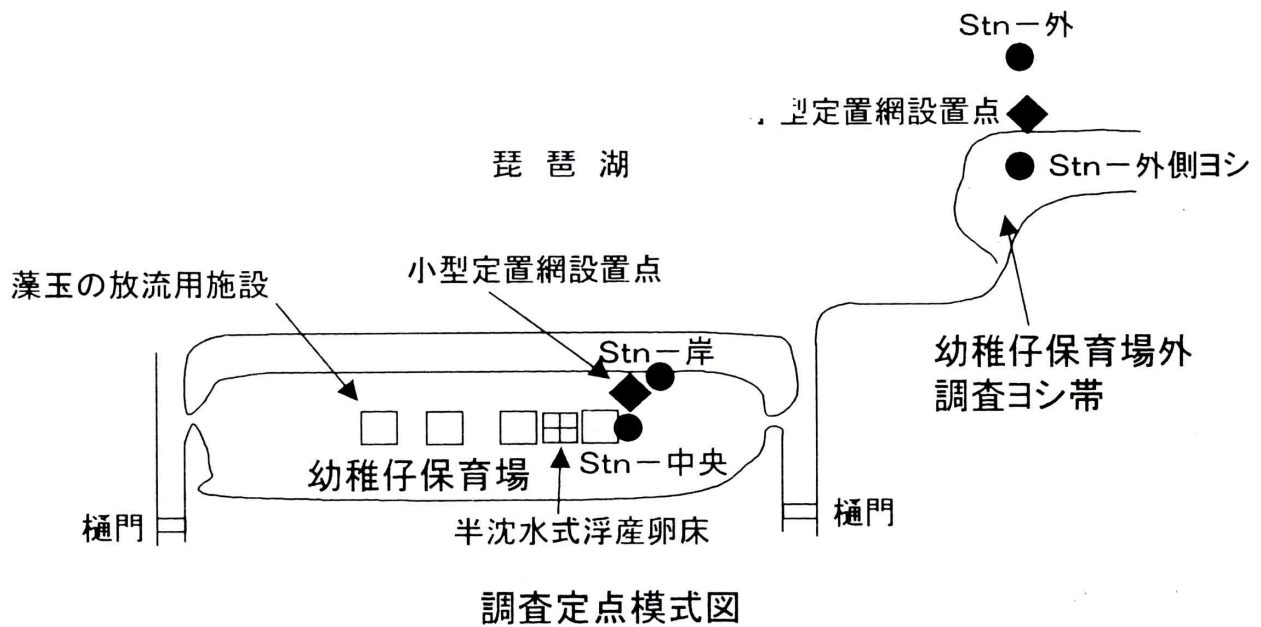
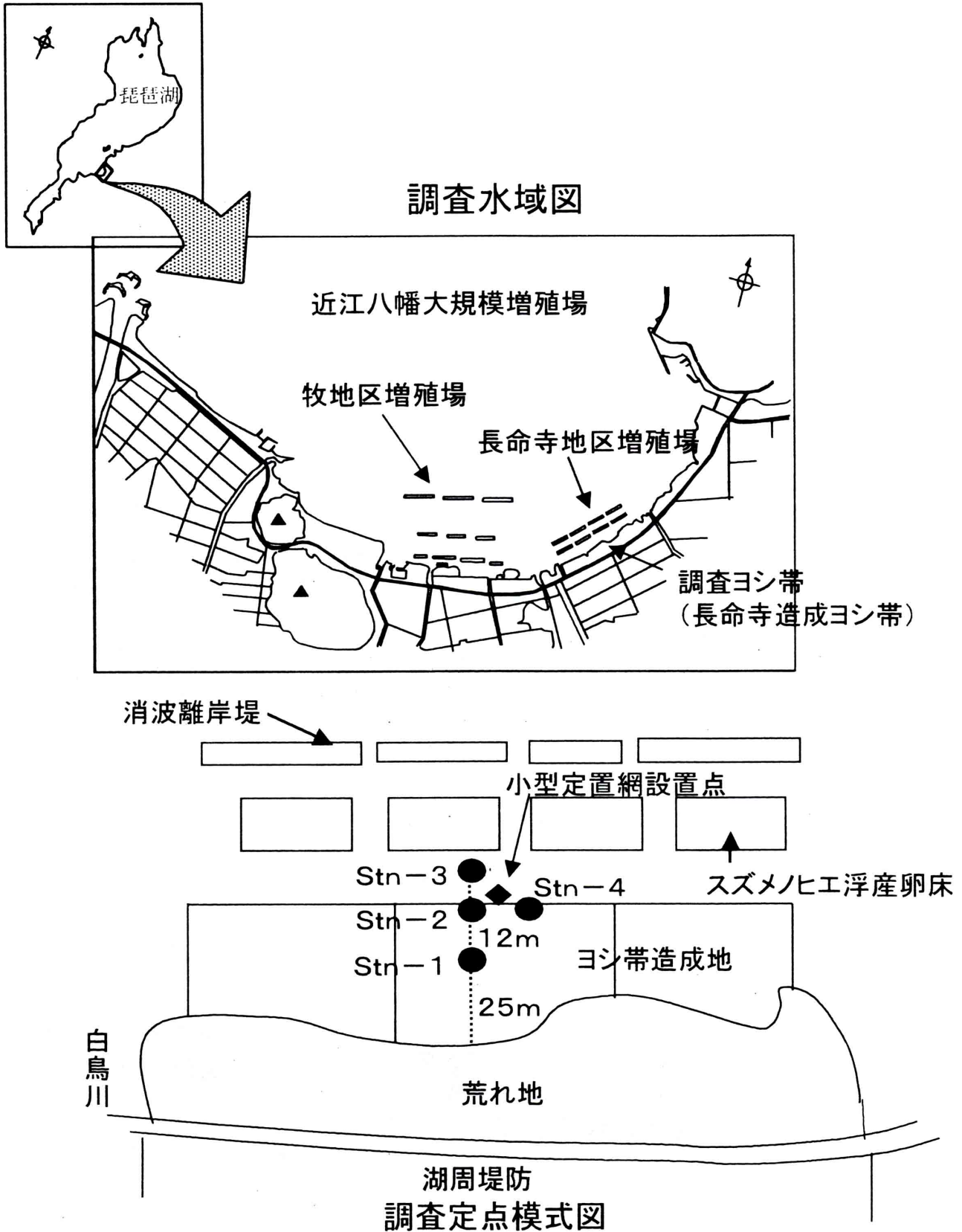


幼稚仔保育場周辺水域図



付図1-1 びわ町川道幼稚仔保育場調査水域と調査定点模式図



付図1-2 近江八幡市長命寺増殖場造成ヨシ帯  
調査水域と調査定点模式図

付表1 調査水域・地点の概要

(付図1-1,付図1-2参照)

水域	地点	概要
びわ町川道 幼稚仔保育場		湖周堤防外側の琵琶湖岸のヨシ帯に 400 m × 20 m × 2 m (中央部水深) の池を掘って昭和 54 年に造成した人工内湖。内湖の両端部に樋門をかいしての堤防内側の水田からの排水の流入および内湖からの流出口があるが、東端側は土砂で埋まっている。周囲はヨシが植栽され、内湖中には魚礁や卵の放流施設が設置されている。
	Stn - 中央	保育場 (内湖) のほぼ中央部。卵を放流するために設置されている施設 (塩ビ製簀) の横。植生は無し。琵琶湖基準水位時では水深約 2 m。
	Stn - 岸	保育場の琵琶湖側堤防の岸辺。ヨシ、ヤナギ、スズメノヒエなどの粗な植生。琵琶湖基準水位時では水深約 50 cm。
	Stn - 外	保育場流出口外側の琵琶湖岸ヨシ帯の前縁部から約 15 m ロモ、ヒロハノエビモ、マツモ、ヒシなどが夏季には繁沖。底質は砂質。植物としてセンニンモやネジレモ、ク茂する。琵琶湖基準水位時では水深約 1.5 m。
	Stn - 外ヨシ	保育場からの流出口の外側琵琶湖岸の小規模なヨシ帯。株立ちが進んでいる。琵琶湖基準水位時では水深約 70 cm。
長命寺増殖場 造成ヨシ帯		温水性魚類の増殖場として平成 7 年より造成され、平成 9 年造成終了。離岸堤、浮産卵床、繁殖水路とともにヨシ帯 4.5ha (30 m × 1500 m) が造成された。ヨシ帯と湖周堤防の間は陸上性の植物の生える荒れ地となっている。
	Stn - 1	造成ヨシ帯のほぼ中央部で、ヨシ帯前縁から約 12 m の地点。ヨシ以外にスズメノヒエが生えている。琵琶湖基準水位時では水深約 60 cm。
	Stn - 2	造成ヨシ帯のほぼ中央のヨシ帯前縁部。造成のための盛り土流出防止用柵 (粗朶) 内側。スズメノヒエが優占している。琵琶湖基準水位時では水深約 80 cm。
	Stn - 3	増殖場のほぼ中央部でヨシ帯前縁部と繁殖水路に設置してある浮産卵床との間。底質は泥底。夏季にはヒシやトチカガミやホテイアオイが水面を覆い、水中ではセンニンモやコカナダモ、マツモが生える。琵琶湖基準水位時では水深約 1.8 m。
	Stn - 4	離岸堤の切れ目から侵入する波のよくあたる部分のヨシ帯前縁部。消波のための塩ビ簀が設置されている内側。波により造成のための盛り土は流出し、粘土質の底になっている。ヨシは株立ちまたは、喪失している。琵琶湖基準水位時では水深約 1 m。